

会 議 録

- 1 会議の名称 令和6年度第1回社会教育委員会議
- 2 会議の日時 令和6年6月27日（木） 午前10時から
午前11時20分まで
- 3 開催場所 川根本町文化会館 2階 会議室
- 4 出席した者の氏名
 - (1) 委員
勝山 庄司委員長、西田 稔委員、濱谷 友子委員、山下 慎吾委員、道脇 弓子委員
栗田 尚委員、山本 正和委員、中村 泰子委員、岡本 彰彦委員
 - (2) 執行機関 （事務局）社会教育課 課長 大村 泰子、室長 川畑 昭尚
文化会館館長 岩田 尚也、海洋センター所長 向島 裕人
- 5 議題
 - (1) 令和6年度社会教育事業の概要について
 - (2) 社会教育委員連絡協議会（榛原地区他）について
 - (3) その他
- 6 会議資料の名称
令和6年度社会教育委員会資料（事業計画及び事業報告ほか）

7 発言の内容

【開会】

【委員長あいさつ】

中社教連の会長、それから県社教連の副会長を兼任させていただいてる関係で、そちらの情報を皆さんにお伝えしたい。県の事務局が静岡市のお堀の近くの中央ビルで事務局を構えておりましたが、耐震性がないということで解体することが決まった。移転をしなければいけなく、民間のビルを借りた場合、大変な出費になるためお金を貯めてきたが、県庁の社会教育課のフロアの一角を借りることができた。非常に経済的にも助かり社会教育課と同じフロアであるため、より連携が高まっていく。中央ビルの解体が今年の4月でしたが、もう1年先延ばしになり、会議等は中央ビルで行っている。

6月19日に静岡県社会教育委員連絡協議会の総会があり、令和10年、全国大会が静岡県で開催され関東甲信越静岡ブロック大会と同時に開催される。県社教連とは別に浜松市、静岡市は別な協議団体があり、3つが一緒になってやらなければならない誰がリードするのか、その他に宿泊施設等いろいろな問題が山積している。また、総会後に講演も行ったが各市町の参加者が少なく、川根本町はいろいろな研修会では公用車を出していただけるが、そのほかの市町は公用車を出すこともなく、

交通費がかかるため、結局、事務局と委員長の参加となり非常に少人数になっている。

事務所の移転問題があり、移転費用を貯めたお金があるならば、なぜ、市町負担金を出さなければならぬのか、他地区で厳しい意見が出ている。

現在、県の取組としては、ひとつにウェルビーイングがある。学校関係の方は浸透しているが、まだこのことが広がっておりません。ウェルはよりよく、ビーイングは生きる、よりよく生きるということでこの社会教育の目標の一つになっている。ウェルビーイングという言葉の頭の中に入れてほしい。

【協議事項】（進行：勝山委員長）

（１）令和6年度社会教育事業の概要について

事務局より、款項目順・部署別に事業計画について説明。（資料に沿って説明）

[説明した主な事業]

放課後子供教室、図書推進事業、移動図書館車ルート変更、生涯学習推進事業、生涯学習活動派遣事業、資料館やまびこ運営事業、文化会館運営費、伝統文化伝承館管理運営費、B&G海洋センター事業、カヌー振興事業、社会体育施設整備事業、市町対抗駅伝競走大会参加事業、体育施設費、はたちの集い、資料館やまびこ、文化会館、伝統文化伝承館、B&G海洋センター等

（委員）3ページの移動図書館車やまびこ号ですが、昨年度、便数を減らすことや利用者が少ないといった話があったが、この頃、各地区にマックスバリューの移動販売が来る。人がたくさん買いに来るため、それに合わせた時間帯にしたらどうか。買いに来た人たちがついでに本を借りるようになれば利用が増えるのではないかと。

（事務局）コースですが、昨年度計画して今年度から7コースに変更になっている。場所も変更になって運行している。

マックスバリューが来ているときは確かに人が多いため、同じ時間帯に合わせられるか調整し検討していきたい。

（委員）3ページの図書ネットワーク事業ですが、学校ともネットワークが繋がっているとの事ですか。

（事務局）はい

（委員）学校がどれだけネットワークを利用しているのか学校の立場としては、学校の蔵書以外にも健康読書や地域教材があると助かるのではないかと思う。そのあたりはどのように利用されているのか。

（事務局）施設の利用状況の2ページに平成30年度から令和5年度の年間利用数がある。3ページには図書室の利用の件数があるが、文化会館、山村開発センターの図書室と移動図書館車の実績となる。学校の利用実績については記載がないため、今後は記載するようにする。

（委員）学校での利用例があれば聞かせていただきたい。

（委員）ネットワークで繋がっているのは承知しているが、学校の図書室から文化会館等への貸し借りはない。

（事務局）本によっては連絡が来て、貸し借りの調整をしている。文化会館、山村開発センターにあれば取り寄せて渡すようにしている。

（事務局）ネットワークで繋がってるのは分かっているが利用状況が少ないという状況なのかもしれない。今後は学校にも、周知をして広報に力を入れていきたい。

（委員）せっかくなのでたくさん使ってもらったほうが良いのではないかと思う。

（事務局）分かりました。ありがとうございます。

- (委員長) 図書館事業で、小中学生や高校生の休業中、長期休業中や土日に勉強するために図書室を利用している人が多いが、図書室には係の方がいるので安心している。例えば夏休み等で利用人数が多くなった場合、開発センター等の会議室を開放していただく対応はできるか。
- (事務局) 今のところ、図書室で小中学校生が多くなってしまって、オーバーしてることは、職員からの報告がないため、そういう対応はしていない。昨年度から海洋センターのミーティングルームを小学生の勉強の場として開放している。そのような中で、各施設を利用して夏休み等子供たちが涼しい中で勉強をみんなのできる場として少しずつ広めていき、開発センターについては、管理が総務課になるため連携を取りながらから図書室でオーバーした人数を会議室で利用ができるか検討していきたい。
- (委員長) 部活動が地域に移動してるという傾向にあるため、今まで学校の場合には先生方が夏休み等には勉強を見ることができ学習支援をしてきたが、働き方改革により活動が先生方から地域に移っていく。例えば、8時から練習して11時ぐらいで終わったときに、お昼まで図書室で勉強する場合、施設で面倒を見ていただくという要望が増えてくるのではないかと感じた。
- (事務局) 令和8年度から地域部活動に移行していく形で、教育総務課で町民の方にも御意見を頂きながら動いてるところであるため、教育総務課に今頂いた御意見を伝えて、地域部活動の話を進めていく中で検討をしていきたい。
- (委員) 川根高校の生徒は、昨年度文化会館の事業に参加させていただき勉強をさせていただいている。川根高校も令和8年までに1学年1学級に移行していき、一番変わるのは定数の関係で教員の数が減ってくる。そのような中で本校に入学してくれた生徒については学校の内外で充実した学習ができるようにしていきたい。生徒たちにも参加できるような、さまざまな講座や事業があるので川根での生活を充実するため、川根ならではの体験ができ社会性を育んでいけるよう事業に参加をさせていただきたい。
- 事業に参加するのに一番のネックは交通手段がない。文化会館事業に参加させたいと思うが、移動手段が限られてくる。学校だけでは担いきれないものがあるため、地域で育てていただけるようお願いしたい。
- (事務局) 事業をやるに当たって、移動手段が1番懸念される場所だが、川根本町は広いので一般の方を全部送り迎えすることは難しいが、高校生に参加を募ったときに、どのくらい集まることが分かれば、移動手段を検討していきたい。
- (委員) 今、送り迎えの件で御意見があったが、放課後児童クラブで海洋センターを使ったらどうかと担当者から提案があったが、ぜひそのようにしたい。本当に暑いし、夏は外では遊べないため海洋センターを使わせてもらえたらありがたいが、送迎用に9人乗りが1台あるだけで移動手段がないため、送迎をしていただくとすごく助かる。ご検討いただきたい。

(他に質疑等なし)

(2) 社会教育委員連絡協議会研修会について

事務局より、榛原地区、中部地区及び静岡県の社会教育委員会研修会事業報告について説明。

[主な説明内容]

(榛原地区)	研 修 会	吉田町	委員 6 名出席
(中部地区)	合同研修会	川根本町	委員 8 名出席
(静岡県)	関東甲信越静岡研究大会	栃木県	委員 1 名参加
	研 修 会	磐田市	委員 1 名出席

事務局より、榛原地区、中部地区及び静岡県の社会教育委員会研修会事業計画について説明。

[主な説明内容]

- ・榛原地区の構成市町と事務局（吉田町：令和 5 年度・6 年度）
- ・中部地区の構成市町と事務局（川根本町：令和 5 年度・6 年度）
- ・榛原地区及び中部地区の総会
- ・静岡県の連絡協議会の理事会、総会、関東甲信越静岡研究大会

(質疑等なし)

【閉会】

上記に相違ないことを確認する。

川根本町社会教育委員会 委員長 勝山 庄司